

チ. 市の行政に対する満足度・市長に対する業績評価

問14 あなたは、鳥取市の行政サービスに対してどの程度満足していますか。この中から二つ選んで○を付けてください。

【旧鳥取市】			%
1	大いに満足	8	1.4
2	ある程度満足	142	25.4
3	どちらともいえない	245	43.9
4	やや不満足	127	22.8
5	大いに不満足	34	6.1
99	無回答	2	0.4
	合計	558	100.0

【旧町村部】			%
1	大いに満足	5	0.8
2	ある程度満足	102	16.2
3	どちらともいえない	251	39.8
4	やや不満足	198	31.4
5	大いに不満足	68	10.8
99	無回答	7	1.1
	合計	631	100.0

問15 あなたは、竹内・鳥取市長のこれまでの業績をどのように評価しますか。この中から一つ選んで○を付けてください。

【旧鳥取市】			%
1	大いに評価できる	7	1.3
2	ある程度評価できる	121	21.7
3	どちらともいえない	197	35.3
4	あまり評価できない	152	27.2
5	全く評価できない	76	13.6
99	無回答	5	0.9
	合計	558	100.0

【旧町村部】			%
1	大いに評価できる	17	2.7
2	ある程度評価できる	143	22.7
3	どちらともいえない	232	36.8
4	あまり評価できない	163	25.8
5	全く評価できない	68	10.8
99	無回答	8	1.3
	合計	631	100.0

まず問14では、市の行政サービスに対する満足度を尋ねている。この設問では、旧市と旧町村部との比較において若干の地域差が確認でき、「やや不満足」と「大いに不満足」の合計で見た場合に、旧鳥取市では3割弱となっているのに対し、旧町村部ではその割合は4割を超えている。この傾向は、数字の上でも佐久市の調査と同様のものとなっている。旧8町村は合併により鳥取市の「周縁部」になったと捉えることができるが、「平成の大合併」により広域化した新自治体では、周縁部における行政サービスの低下に対する住民の不満が、全国各地で伝えられている。そうした傾向が一定程度、旧市と旧町村部との相違となって表れたと言えるだろう。また、住民投票における投票行動との間でクロスデータを取ると、行政に対する不満が強い人ほど、耐震改修案を選択する傾向が強い。当初、新築移転案が推進されていた中では「市民サービスの向上」が目的の一つとして掲げられていたが、市民の意識としては、市民サービスの向上をそこまで強く求めていたわけではなく、現状維持で充分と考える市民が比較的多かったと言えそうである。

続いて、竹内・鳥取市長のこれまでの業績評価について尋ねた問15では、両地域間の比較において明確な相違はなく、いずれの地域でも2割強の人が「大いに評価」あるいは「ある程度評価」できると回答している。こうした市長に対する評価もまた、住民投票における投票行動と密接に関係しており、市長に対して厳しい評価を下している人ほど耐震改修案を、市長を肯定的に評価している人ほど新築移転案を支持する傾向が、居住地域を問わず見られる。